

経営比較分析表（令和5年度決算）

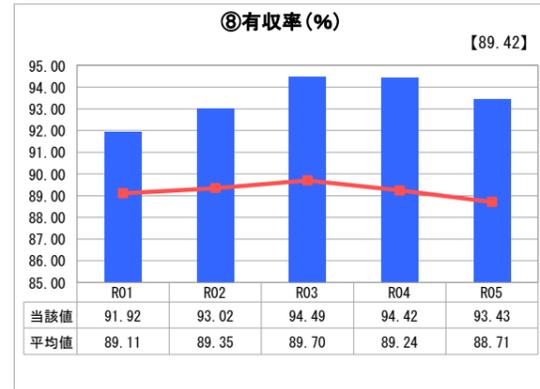
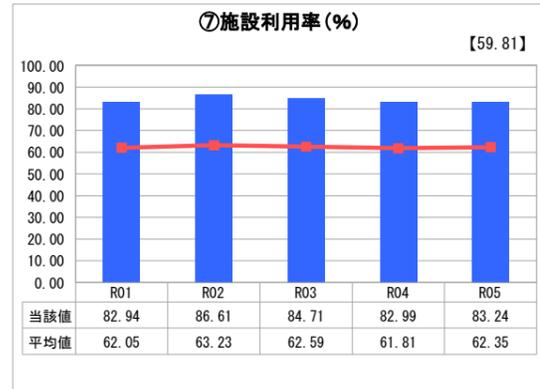
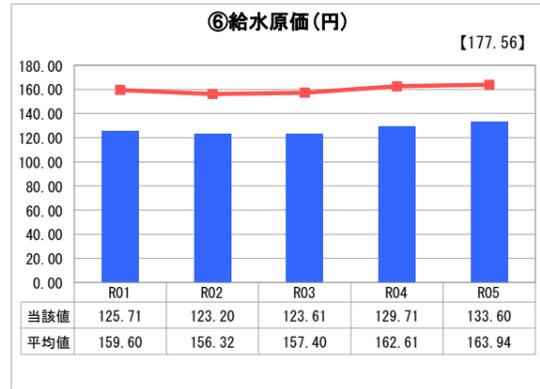
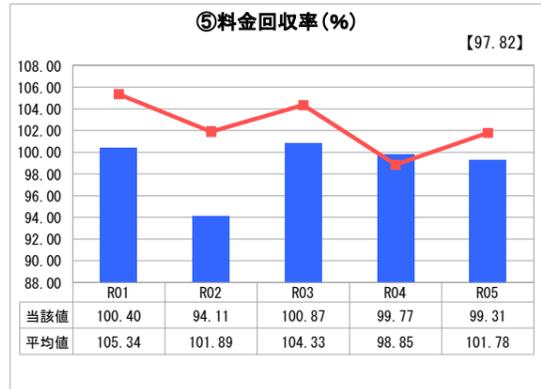
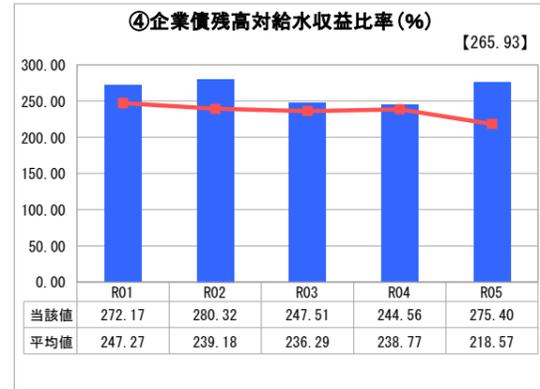
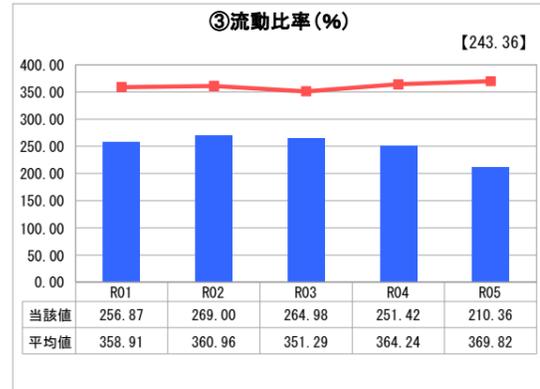
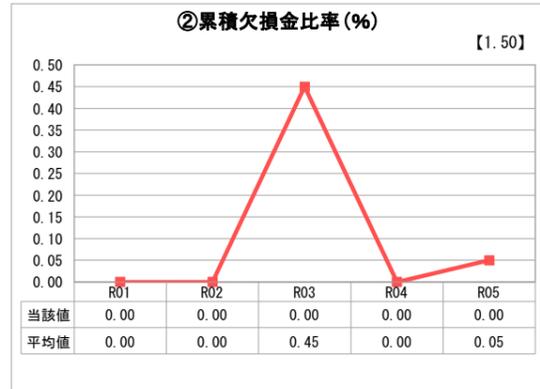
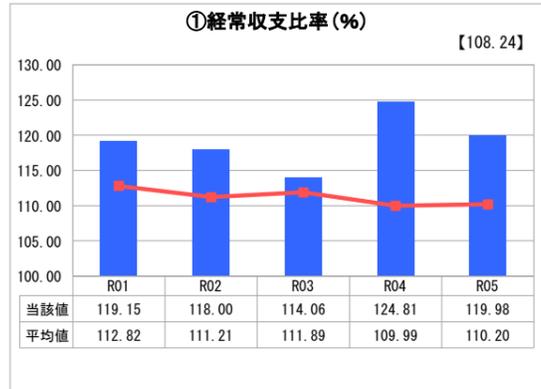
埼玉県 朝霞市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	68.63	100.00	2,255	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
144,964	18.34	7,904.25
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
145,531	18.34	7,935.17

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

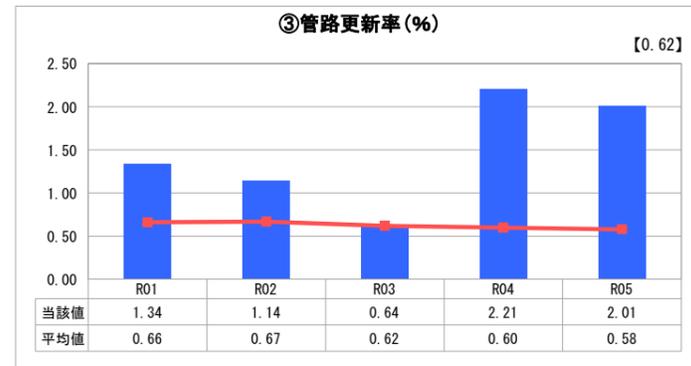
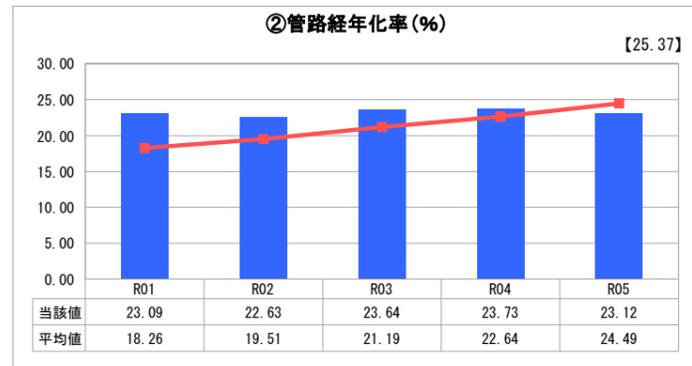
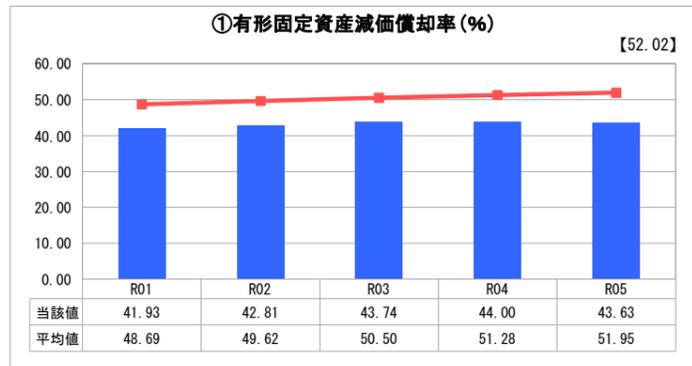
1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は水道利用加入の減少等により前年度より4.83%減少し119.98%となっているが、100%を上回り健全な経営状況と言える。
 ② 累積欠損金比率は前年度より0.00%となっているが、100%を上回り健全な経営状況と言える。
 ③ 流動比率は類似団体平均を下回っているものの200%を超える水準を維持しており、短期債務に対して十分な支払い能力を有している。
 ④ 企業債残高対給水収益比率は企業債による借入が増加したことにより前年度より30.84%増加の275.40%となった。長期的な経営への影響も考慮しながら企業債の活用を検討していく必要がある。
 ⑤ 料金回収率は水道料金の減免をおこなったこと等により、100%を下回った。
 ⑥ 給水原価は類似団体平均を下回る水準を維持しているが、減価償却費や委託料が増加したこと等により前年度に比べ3.89円増加している。
 ⑦ 施設利用率は80%を超える水準で推移しており、効率的に施設を利用できている。
 ⑧ 有収率は前年度から低下したものの、類似単体平均を上回る水準を維持している。引き続き漏水調査など有収率の改善に努めていく。

2. 老朽化の状況について

老朽管の更新を進めており、③ 管路更新率が2%を上回る水準となっている。その結果、① 有形固定資産減価償却率は類似団体平均を下回る状態を維持しており、また、② 管路経年化率についても類似団体平均を下回る水準に改善している。

2. 老朽化の状況



全体総括

全体の指標としては健全な経営状況と言えるものの、老朽管更新工事等の建設改良工事を多く行っていることから、企業債や減価償却費が増加しており企業の利益を圧迫することが懸念される。また、令和4年10月に水道料金の改定を行ったものの、エネルギー価格や人件費の高騰により工事費等が上昇していることや、令和8年度から県営水道の料金改定が予定されていることから更なる経費の削減や適正な料金水準について検討をしていく必要がある。